

法律関係

テーマ	教育と法 ～ 教育法制の現在	講師 池上 和文
内容	<p>我が国の公教育は、どのような仕組みのもとに行われているのでしょうか。憲法26条をはじめとして、教育については憲法にもいくつかの直接的な規定がありますが、何といても教育の憲法といわれるのは教育基本法です。</p> <p>教育基本法第1条には、「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない」と規定されています。</p> <p>この「教育の目的」を達成するために、学校教育法以下、数多くの教育に関する法規が制定されています。この事実が物語るように、法治国家である我が国の教育政策は、すべて法令を基に実施されているのです、これを教育法制といいます。憲法から学習指導要領まで、現在の「教育と法」の関係について概観してみましょう。</p>	

テーマ	教育における不易と流行	講師 池上 和文
内容	<p>「不易と流行」とは、江戸時代の俳人松尾芭蕉が俳諧(俳句)の基本理念として説いたものです。ある辞書によれば、<「不易」は永久不変の芸術の姿であり、「流行」は「不易」をもとめて進展し流動する芸術の側面をいう。芭蕉はこの両者が一句の中に統一されていることを理想とした>と解説されています(旺文社国語辞典)。</p> <p>生命の尊重や人権が声高に叫ばれる一方で、なぜいとも簡単に人の命が奪われる現実が生じるのでしょうか。人心の荒廃と教育はどう向き合えばよいのでしょうか。</p> <p>現在、教育の世界においても「改革」が盛んに行われています。しかし、「改革」=「改善」なのでしょうか。教育における不易と流行とは、芭蕉が説くように、その指導理念において統一されていると言えるのでしょうか。様々な困難が錯綜する現在の教育界に焦点を当て、教育における不易と流行について考えてみましょう。</p>	

テーマ	地方創生と宮崎の可能性	講師 池上 和文
内容	<p>政府(安倍内閣)の提唱する「地方創生」を宮崎県に当て嵌めて考えると、宮崎県の資源や人材を活用して宮崎県の活性化を図り、私たちのこの宮崎県をより豊かで住みよい「郷土」として再生させること、と捉えることができるでしょう。</p> <p>そこで、具体的なデータ(資料・情報)を通して本県の実態を知り、それをベースにして、「地方創生」のための本県の可能性について具体的に考えてみましょう。</p>	

テーマ	死刑について	講師 大久保 哲
内容	<p>日本の死刑制度はどのようなものか。1年で何人ぐらいが死刑を執行されるのか。</p> <p>私自身は死刑制度反対ですが、色んな角度から死刑を考えてみようと思います。</p>	

テーマ	裁判員裁判について	講師 大久保 哲
内容	<p>裁判官3人、普通の市民6人が一体となって、犯罪を裁くのが裁判員制度です。</p> <p>裁判員制度の欠点なども伝えようと思います。</p>	

テーマ	犯罪を犯したらどうなるか	講師 大久保 哲
内容	<p>もし私達が犯罪を犯したら、どのように扱われ、処分されるのでしょうか。</p> <p>長い物語になりますが、コンパクトに伝えたいと思います。</p>	

テーマ	市町村合併と道州制	講師 立川 淳一
内容	<p>これまでの市町村合併と「平成の大合併」はどう違うか</p> <p>地方分権改革と道州制はどのような関係が考えられるか</p> <p>基礎自治体に求められる役割と国の役割等について</p> <p>その他現段階で検討されている内容をもとに考察してみましょう。</p>	

テーマ	協働による地域の活性化の必要性について	講師 立川 淳一
内容	<p>私たちの生活を取り巻く環境は、厳しい財政状況の下、少子・高齢化や環境問題など多くの課題を抱えています。近年、「官から民へ」、コラボレーション、「自助」、「共助」、「公助」といった言葉が俄かに聞こえてきます。「これからの地域づくりはどう取り組むべきなのか」について事例を紹介しながら一緒に考えましょう。</p>	

テーマ	高齢化社会と社会保障	講師 廣田久美子
内容	<p>私たちの生活には、病気やけが、生計維持者の死亡などさまざまなリスクが潜んでいます。このようなリスクに対応するのが社会保障であり、現在、改革がすすめられています。今後の社会保障の在り方を考えるうえで不可欠である、医療や年金、福祉に関する制度の基本的な仕組み、負担と給付などについて説明します。</p>	

テーマ	障がい者の生活と雇用保障	講師 廣田久美子
内容	<p>障害者権利条約の批准に向けて、日本でも、障害のある人に、障害のない人と同じような就労の機会をいかに保証するか、ということがますます重要な課題となっています。障害のある人に対する社会保障システムや、職場での「合理的配慮」のような企業の取り組みなど障がい者の社会参加のための公的な保障や支援についてお話しします。</p>	

テーマ	ワークルールの基礎	講師 廣田久美子
内容	<p>現代社会では、多くの人々が労働に基づいて生活を成り立たせており、働く側・働かせる側の双方が正しいワークルールを認識することが不可欠です。労働をめぐる人の関係を規整し、労働紛争の予防と解決を図ろうとする労働法、すなわちワークルールの基礎知識と、雇用の場で遭遇するさまざまな問題について解説します。</p>	

テーマ	政治って何？ —政治学入門—	講師 福島都茂子
内容	政治とは、大人が勝手に決めるものでしょうか？なぜ勝手に決められたことに従わなければならないのでしょうか？誰でも聞いたことのある「民主主義」について、今までとは違う視点から見てみましょう。	

テーマ	ナショナリズムは「危険」なものか？	講師 福島都茂子
内容	最近よく話題になるナショナリズムとは何でしょうか？オリンピックで自国を応援するのもナショナリズムの一種です。それは、ある意味「当たり前」の心理でもあるわけですが、それがなぜ「危険」と言われることがあるのでしょうか？「ネーション」の概念とともに考えていきましょう。	

テーマ	18歳選挙権と投票について	講師 福島都茂子
内容	選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられました。高校3年生でも投票できるようになります。でも、いったい誰に投票すればいいの？と不安に思う人も多いでしょう。選挙と投票の意味について考えてみましょう。	

テーマ	商法はじめて物語	講師 星光
内容	中世ヨーロッパ、農具を捨ててフルタイム金儲けに走るチャライ集団が突如現れた。彼ら「商人」は自分たちが金儲けしやすいルールを次々と作っていった(商法はじめて物語)。イギリス・オランダ商人は胡椒を求め、アフリカ喜望峰を回り、荒波を乗り越え、遙かインドを目指した。でもその航海には危険がいっぱい(会社法はじめて物語)。	

テーマ	今更聞けない…M&A って…なに？	講師 星光
内容	時代を騒がせたホリエモンやヒルズ族、「敵対的買収」って…なに？あの頃ニュースで飛び交っていた意味不明な言葉、「ポイズン・ビル」やら「ホワイト・ナイト」、「ゴールデン・パラシュート」やら「焦土作戦」って…なに？「ニッポン放送事件」「ブルドックソース事件」って…一体何が起こったの？	

テーマ	会社の作り方教えます	講師 星光
内容	初期費用1円、今日からあなたも社長さん!!平成18年施行の新会社法は、日本経済の次代を担う若い起業家たちにベンチャー企業をどんどん立ち上げてもらおうと、会社設立の敷居をうんと低くしちゃいました。資本金1円、社員1人でもOK。小さく産んで大きく育てる、将来の松下、SONY、HONDAも夢じゃない。	

テーマ	毎日の生活が法律につながっている！	講師 宮田 浩史
内容	中学・高校では、公民分野で「憲法」や「民法」が出てきますね。現実の社会では、教科書だけでなく、生活のあらゆるところで法律が関わっています。私たちの生活の中でどのように法律が関係しているのか、普段の生活をたどりながら考えてみましょう。きっと、普段の生活が違って見えるようになる！	

テーマ	法律を学ぶとこの後の人生が変わるかも！？	講師 宮田 浩史
内容	みなさんは、成人したあと、大人として様々なことを自分の責任で処理していかないといけなくなります。例えば、仕事やアルバイトでひどいことを言われたり、交通事故を起こして相手とトラブルになったりしたらどうしますか？ただ闇雲に自分の言い分ばかりを主張しては、かえって悪い結果になるかもしれません。法律を学ぶことで、相手の立場に立って考えて先を見ずえて考える力を養うことができます。今後の人生にとって大きな力になります。	

テーマ	他人の物から利益が生まれたら、その利益は誰のもの？	講師 宮田 浩史
内容	法律の知識は、財産の増減に影響してきます。投資などをする場合はもちろんですが、普段の生活の中でも、十分にありえます。例えば、自分の土地だと思っていたイチゴ畑からイチゴを収穫し販売したが、実は他人の土地だったという場合、イチゴを販売したお金は返すのでしょうか？一緒に考えてみましょう。	

テーマ	専門家の責任を考えてみよう～医師の責任を中心に～	講師 宮田 浩史
内容	あるテレビ番組で、「私、失敗しないので。」という決まり文句を言う医者活躍するドラマがありました。しかし、現実のニュースでは、医療ミスについての報道がよくあります。では、医者は、失敗したときにどこまでの責任を負うと考えるべきでしょうか？いろいろな立場に立って、考えてみましょう。	

テーマ	「大人」とは何か、民法の点から考えてみよう。	講師 宮田 浩史
内容	18歳選挙権がついに実現することとなりました。でも、実は、みなさんにとってもっと身近な民法上の「成年」の年齢引き下げも検討されているのをご存知でしょうか？未成年のみなさんは、ある意味、経済的には保護されています。それが保護されなくなってしまうのでしょうか？様々な点から、一緒に考えてみましょう。	

テーマ	登記を通して不動産の仕組みを学ぶ。	講師 矢鋪 渉
内容	土地・建物登記簿の見方や土地の値段が決まる仕組みを考える。物権法、都市計画法、建築基準法を説明し、国土の利用を考える。	

テーマ	未成年者の「取消権」を通じて、未成年者保護の仕組みを学ぶ。	講師 矢鋪 渉
内容	大人同士の商品売買契約と未成年者が締結した商品売買契約の取り扱いの差を学び、未成年者から大人になった後の違いを理解する。	

テーマ	磯野家における遺産相続はどんなところが大変だと思いますか。	講師 矢鋪 渉
内容	磯野家をモデルに予想される遺産相続の問題を考え、その予防方法、家族の在り方を考える。	

テーマ	法学部で学習すること	講師 青木 誠弘
内容	<p>法学部で何を勉強するのかイメージがわからない、という方のために、法学の内容を概略的にお話します。</p> <p>例えば、法学では法律の条文だけ知ればいいのではなく、その解釈についても学習する必要があること、法律の意味を理解するには過去の裁判例についても学習する必要があり、その中で実際に起こった事件についても学ぶこと、六法全書の「六法」とは何のことで、それぞれがどのようなことを規定した法律なのかということ等です。</p> <p>法律の条文をお見せしたり現実の裁判例をご紹介しますので、そこから法学のイメージを持っていただければ幸いです。</p>	

テーマ	裁判所もお手上げの事件？司法権の限界	講師 青木 誠弘
内容	<p>人と人との間でトラブルが起こったとき、最後に頼りになるのが裁判所です。当事者同士ではどうにも決着がつかない問題に、法を適用して最終的な判断を下してくれます。</p> <p>しかし、世の中には、さすがの裁判所にも裁くことができない紛争が起こることもあります。</p> <p>では、今までに、どのような事件が「お手上げ」と判断されたのか。様々な事例を紹介します。</p>	

テーマ	法学の立場から見た社会契約説	講師 青木 誠弘
内容	<p>中学生、高校生のみなさんならば、歴史の授業でフランス革命について勉強したことがあると思います。そして、その中で、社会契約説や絶対王政といった用語も登場したことでしょう。</p> <p>これらの用語、実は、法学では非常に重要な意味を持っています。</p> <p>歴史の教科書に載っている事実が現代の社会にどのように影響しているのか、また、中学や高校で学んだことが大学での学習にどのようにつながるのか、この授業を通じて見ていきましょう。</p>	

テーマ	六法って何？(法学入門)	講師 明石 真昭
内容	<p>「六法」を読んだことがありますか？「六法」には何が書かれているのでしょうか？ひょっとして日本の法律すべてが「六法全書」に書いてあるとか？「六法」を素材として、我が国の法制度の全体像を説明し、法学部で学ぶ意味、法学部で学ぶことが将来どのように役に立つか、について説明します。</p>	

テーマ	高齢者の事故。責任は誰にある？	講師 明石 真昭
内容	<p>近時、高齢者が加害者となる事件・事故が多く発生しています。この場合、高齢者はどのような責任を負うのでしょうか？また、判断能力が十分でないことを知りながら何もしなかった家族等に責任はないのでしょうか？前提となる基礎的な法律知識を学んだ上で、実際に起こった事件を素材として、一緒に考えてみましょう。</p>	

テーマ	子ども同士のけんかで大けが。責任を負うのは誰？ (未成年者と不法行為)	講師 明石 真昭
内容	子どもがけんかして相手にけがを負わせてしまいました。けがを負わせた子どもも悪いけど、「けんか両成敗」とも言えます。また、親のしつけも影響するかもしれないし、はやし立てた周りの子どもも問題があるのでは…。前提となる基礎的な法律知識を学んだ上で、実際に起こった事件を素材として、誰が責任を負うべきなのか一緒に考えてみましょう。	

テーマ	カルテルに対する刑事規制	講師 雨宮 敬博
内容	カルテルは、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(いわゆる独占禁止法)の禁止する不当な取引制限であり、公正取引委員会による行政的措置の対象になるほか、検事総長への告発がなされた場合には、犯罪として刑罰の対象にもなります。しかし、日本ではカルテルが横行しているといわれているにもかかわらず、実際にこれに対して独占禁止法の刑罰規定が適用されたケースはほとんどありませんでした。ところが、1990年代以降、状況は明らかに変わり、不当な取引制限の罪として処罰の対象となるケースが続くようになってきています。そのような状況になった背景を探るとともに、今後の展望について一緒に考えてみましょう。	

テーマ	「多文化共生」って何？外国人にも住みよい日本社会とは？	講師 福本 拓
内容	人権学習でも取り上げられる「多文化共生」について、それが単に外国人の支援にとどまらず、これからの地域社会を考えるうえで重要な概念になりうることを解説します。もし外国人がいなければ日本の地域社会はどうか、そして、外国人がいなくても受け入れられない地域社会はどうか？単に概念の紹介にとどまらず、様々な事例を通して「多文化共生」実現に向けた必要性や課題についてお話しします。	

テーマ	世の中のさまざまなことを「地図化」してみよう	講師 福本 拓
内容	<p>情報技術をインターネットの発達、地理情報という分野にも大きな変革をもたらしました。近年のそうした変革の特徴として、専門家に限らず、誰でも好きな情報を瞬時に地図化できるようになったことがあります。自分が関心を持つさまざまな事象を地図化すると何が見えるのか、この授業では地理情報の扱い方と、作成した地図の読み方について解説します。</p> <p>※要:PC・インターネット環境</p>	

テーマ	民事裁判は、なぜ必要か？	講師 村田 治彦
内容	<p>マスコミ報道等では刑事裁判がクローズアップされますが、人と人または会社の間で財産をめぐる争いになれば、民事裁判が必要となります。</p> <p>民法という法律があるのに、なぜ民事裁判は必要なのでしょう？</p> <p>民事裁判のお話を分かりやすくお伝えしたいと思います。</p>	

テーマ	宮崎における市民後見制度について	講師 村田 治彦
内容	<p>宮崎県は高齢者の多い県の1つですが、年をとると、認知症になり、判断能力に問題が出てきます。そうすると、法が予定する取引等ができないとされ、彼らを支える後見制度が不可欠になってきます。従来は、親族や専門家(弁護士、司法書士、行政書士、税理士など)が担ってきました。</p> <p>ところが、最近では、市民が高齢者を支える市民後見制度が生まれていますが、権利擁護センターみやざきの運営委員の経験から、宮崎における市民後見人の実情をお話します。</p>	

テーマ	リーガル・マイスター養成塾について	講師 村田 治彦
内容	<p>産経大に入学して、法律を身に付け、実務家になりたいという人を支援するリーガル・マイスター養成塾があります。</p> <p>その塾生のうち、弁護士や司法書士など、法律実務家として活躍しています。</p> <p>塾長の経験から、リーガル・マイスター養成塾で取り組んでいることを紹介し、それを踏まえて、どうすれば、法律実務家になることができるのか、すなわち、大学で、法律を学ぶとは、どうすればよいのか、何を学ぶべきなのか、を分かりやすくお話ししたいと思います。</p>	

テーマ	法の解釈と適用について	講師 石田 若菜
内容	<p>XはYを殺した。はたしてXは有罪でしょうか無罪でしょうか。また、有罪だとすれば、何罪になるでしょうか。いくつかの具体的事例から法学部で学ぶことになる法の解釈と適用について説明します。</p>	

テーマ	恋愛の自由と法律・条例	講師 石田 若菜
内容	<p>X(男性・26歳)はY(女性・16歳)が18歳未満の青少年であることを知った上で性行為に及んだ。あなたが検察官だったら起訴状にどのような罪名を記載しますか、弁護士だったらどのようにXを弁護しますか、裁判官だったらXを有罪にしますか無罪にしますか、一緒に考えてみましょう。</p>	

テーマ	地域の課題と地方自治法	講師 石田 若菜
内容	<p>地方自治法上の直接請求制度を活用すれば、住民が一定の署名を集めることで、地方公共団体に対し、条例の制定改廃請求、議会の解散請求、首長・議員の解職請求などを行うことができます。地域の課題に目を向け、それにどう主体的に取り組んでいくか、一緒に考えてみましょう。</p>	